

街角スケッチ

代表して抱負を述べる北川くん



一生懸命オールを漕ぐ女性の部の出場チーム



トップチーム同士による戦い



友達たくさん作ります！ 7月21日 訪韓児童親善使節団 結団壮行式

敦賀市の姉妹都市・韓国東海市を訪問する児童親善使節団の結団壮行式が、市役所で行われました。東海市への児童の派遣は平成8年に始まり、今年で13回目となります。訪問するのは市内の小学6年生14人。団員を代表して栗野小学校の北川温矩くんが、「敦賀市と東海市の架け橋となるように、交流の絆を深めてきます」と元気よく抱負を述べました。（使節団一行は、7月23日～28日に訪問を行いました）

女性の部を初めて開催 7月19日 敦賀港カッターレース

夏の恒例のイベント「敦賀港カッターレース」が川崎・松栄岸壁で行われました。このイベントは、敦賀海洋少年団が主催し、今年で14回目を迎えます。今回は、市内外から40チームが参加し、約400mのコースでタイムを競いました。また、初めて女性の部（漕ぎ手6人の内4人が女性のチーム）が設けられました。途中で雨の降るあいにくの天気でしたが、参加者らは、仲間の声援を受けながら懸命にオールを漕いでいました。

世界一の技を体感 7月12日 きらめきスタジアム開設10周年記念 日本女子ソフトボールリーグ1部チーム招待試合

きらめきスタジアム開設10周年を記念し、日本女子ソフトボールリーグ1部の豊田自動織機とデンソー（ともに愛知）の2チームを迎え、招待試合が行われました。試合後には指導会も行われ、市内外の小中高生300人が参加。北京オリンピック優勝メンバーの狩野亜由美選手（豊田自動織機）ら両チームの選手による熱い指導を受けていました。

この記事は

私たちが作りました！

市内の中学2年生が実際の仕事に挑戦する「社会体験活動」が7月14・15・16日（第3期）に行われ（第1・2期は5月に実施）、広報広聴課を体験した2人が広報紙作りにチャレンジしました。



広報広聴課を体験した松陵中学校2年生のなかしのかおり（左）と橋本優花さん（右）

～事故を風化させない～

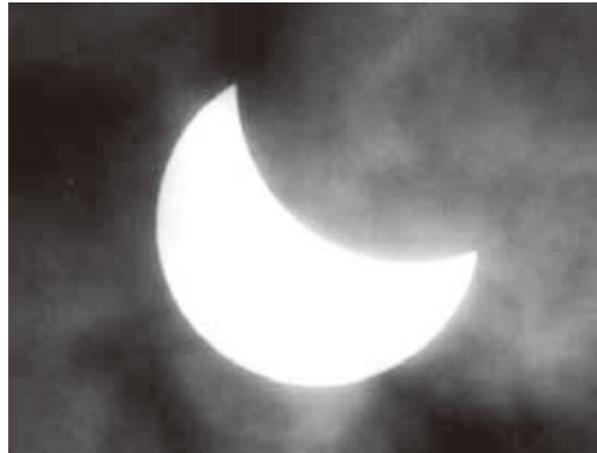
きらめきフェスティバル突風事故から1年
献花・黙祷式、鎮魂の碑を建立（7/27）



献花を行う関係者（左）と、犠牲者の冥福を祈った言葉が刻まれた鎮魂の碑（上）

昨年7月27日にきらめきフェスティバルの会場（金ヶ崎緑地）で大型テントが突風で飛ばされ、死傷者が出た事故から1年を迎え、関係者らが、同緑地で「鎮魂の碑」の建立と献花・黙祷式を行いました。この日は、当時の実行委員会の関係者や、イベントを共催していた敦賀市の関係者ら約70人が参加し、犠牲者の冥福を祈りました。式の冒頭であいさつした河瀬市長は「犠牲になった方の冥福を心から祈っている。決してこの事故を風化させてはいけぬ」と力強く述べました。

市内で撮影した部分日食



太陽が欠けた！ 7月22日 敦賀でも部分日食

日本の陸地では46年ぶりの皆既日食が見られた7月22日に、敦賀市内でも部分日食が観測されました。この日は、曇りの多い天気でしたが、11時頃に三日月のように欠けた太陽を観測することができました。総参祭が行われていた金ヶ崎緑地周辺では、祭りの参加者らが「わあー、すごい」と歓声を上げながら空を見上げたり、カメラマンが静かにシャッターチャンス待ち構えていたり、それぞれが神秘的な光景を楽しんでいました。

雑草を抜く作業中の中学生



働くってこんな感じ 7月16日 中学生社会体験活動

中池見では、社会体験活動中の松陵中学校の男子生徒5人が、自分の身長よりも高いセイタカアワダチソウを手で抜いて取り除いたり、水槽の掃除をしたりしていました。生徒たちは社会体験活動の3日間を振り返り、「初日や2日目は慣れないことがあり大変だったけれど、3日目には慣れてきてスムーズに作業が進むようになり良かったです」と話してくれ、汗をぬぐいながら楽しそうに作業をしていました。（担当：中者）

宝探しの景品をもらう子どもたち



暑くてもへっちゃら 7月15日 ちびっこひろば

こどもの国で毎月1回開催されている「ちびっこひろば」が行われ、1歳半～4歳の子どもたち約25人とそのお母さんが参加しました。この日は、花城海岸での水遊びや、気比の松原での松ぼっくりを使った宝探しをしました。子どもたちはアクアスコープで海の中を観察したり、宝探しの景品をもらったりと楽しそうな様子でした。お母さんたちも「子どもが喜んでいたので良かった、楽しかった」と話していました。（担当：橋本）